
『月と太陽と年明け』 【掌編・文学】

山田文公社

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『月と太陽と年明け』 【掌編・文学】

【Nコード】

N0047Q

【作者名】

山田文公社

【あらすじ】

その1秒は無駄をしない。（故に読まない事を勧める………実にくだらない断末魔のような作品だから）

『月と太陽に年明け』作…山田文公社

指折り数えて時が来れば年が明ける、それが365日もの月日をかけて1周する。暦を詠めば四季が移り変わっていくのがわかるだろう。空の月は満ちては欠け、欠けては満ちてを繰り返し、それが28日周期で巡る。地球は24時間で一周し、たった約12時間だけ太陽は顔を覗かせる（場所によります）。1年は12ヶ月で、1ヶ月はおよそ30日、1日は24時間で、1時間は60分、1分は60秒……31, 536, 000秒……3153万6000秒ある。それが多いか少ないかは判断を委ねる。

1日6時間眠りにつけば、起きている時間は18時間となる。18時間は6万4800秒である。1時間が3600秒。信号機で待つ時間はおおよそ、30秒ほどだから、120回信号待ちしたら1時間経つことになる。そこまで信号機で待たされる事はないだろう、しかし5回待つだけで、150秒失っている。では漫画を読む音楽を聴く映画を見る……いずれにしろ、生きていく以上は時間を失うのだ。それが累積して1年となっている。

どれほど1秒が大事な（つまりこんな作品を読んでいるよりも、今すぐ画面を閉じて1秒を楽しむ方が良い）のかを感じて知って欲しい。そう時間は貴重だ、1秒たりとも無駄にしてはならない。月はこうしている間にも欠けては満ち、満ちては欠ける、太陽は沈みまた昇ってくる。誰もが電光掲示板カウントダウンを眺める、その1秒が新年につながる事を喜んでいる。しかしどの瞬間だってそうなのだ。どの部分を切り取っても今この瞬間につながっている。世界のどこに居ても1秒は1秒なのだ。

「10」

電光掲示板のカウントが10秒を表示した。皆が声をそろえて叫ぶ。

「9」

「8」

「7」

「6」

「5」

「4」

この1秒はどれだけの価値があるか……。

「3」

この1秒にどれだけの深みがあるか……。

「2」

この1秒がどれだけの重みがあるか……。

「1」

誰もが声を上げて新年を待ち望み喜んでいる。誰もが皆浮かれ新年を祝おうとしている。しかし既に来年のカウントダウンが始まらない事を、私が時限爆弾のスイッチを起動した事を、新年の始まりが爆破時刻であるのだと……その誰もが知らない。

「新年早々痛ましい事件が起きました、年明けを祝う人々が集う会場が突然爆発し、大勢のけが人や死者がでる大惨事となりました、現場となったのは……」

テレビのニュースはどこをつけても爆破事件の内容で占めていた。爆弾を仕掛けた男は自分の仕掛けた爆弾と共に死んだ。男が何故そのような凶行に走ったのかを知るものは居ない。新年に大勢の時計は止まった。

日が昇り多くの死体が運び出されていく、四肢が散乱した会場には泣き声や叫び声が響いている。それが誰にとっても新年であり、

また始まりなのだ。喜びもあれば悲しみもある。笑いがあれば怒りがある。誰にとっても等しく訪れる1年、そう年は明けたのだった。太陽は時間通りに昇り、いずれまた沈むであろう。そして月が昇り沈んでいけば、まら太陽が昇る、それを繰り返して時が経っていく。

新年が始まった……それは来年までのカウントダウン、どの1秒も等しく訪れ、どの1年も等しく訪れる。それがどのような形であれ……もう始まっている。そのカウントは誰にも止められない。それが命の1秒なのだから。

(後書き)

貴重なお時間を割いて読んで頂き、ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0047q/>

『月と太陽と年明け』【掌編・文学】

2011年1月11日21時12分発行